



NPO 法人日本防火技術者協会 平成26年度通常総会報告

日時：平成26年1月29日(水)

13:30~14:20

場所：東京理科大学・森戸記念館

議題内容

- 1) 平成25年度事業報告
- 2) 平成26年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他

【総会参加者】

会員数：142名(総会の定足数72名)

出席者：出席21名、委任状60名
合計81名

【配付資料】

- (1) 平成25年度 事業報告書
- (2) 平成26年度 事業計画書
- (3) 平成25年度 決算書
- (4) 平成25年度 会計収支計算書
- (5) 平成25年度 会計貸借対照表
- (6) 平成25年度 会計財産目録
- (7) 平成26年度 予算書
- (8) 平成26年度 会計資料
- (9) 平成26年度 会計収支予算書
- (10) 2014年度 JAFPE 防火技術者認定者名簿
- (11) 2014年度 JAFPE 防火技術者応募要領
- (12) JAFPE 防火技術者認定における「実績に基づくポイント」に関する細則
- (13) JAFPE 防火技術者応募書(2014年度)

【審議事項】

- (1) 第一号議案 議長の選任
- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任
- (3) 第三号議案 平成25年度活動結果報告
- (4) 第四号議案 平成26年度活動計画
- (5) 第五号議案 平成25年度会計報告、監査報告
- (6) 第六号議案 平成26年度予算
- (7) JAFPE 防火技術者認定書授与式

議事の経過の概要及び議決の結果

審議に先立ち福井潔理事長の挨拶があった。

- (1) 第一号議案 議長の選任
福井潔氏を議長に選任した。
- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任
小林恭一氏、長谷川晃一氏を選任した。
- (3) 第三号議案 平成25年度活動結果報告

堀田博文総務理事より報告があり、これを承認。主な活動内容は以下の通り。

3.1) 防火技術に関する講習会などの事業

3.1.1) 防火研修会開催「高齢者」

- ① 6/29、熊本市、170人
- ② 8/29、札幌市、48人
- ③ 8/30、小樽市、60人

3.1.2) 出前講座(FIG講習)

- ① 「こぐれの里」、12/12、練馬区、25人

3.1.3) 施設見学・指導

- ① 老人介護施設「黒髪しょうぶ苑」、6/30、熊本市、12人
- ② 特別養護老人ホーム「清明庵」、1/31、札幌市、2人
- ③ 認知症グループホーム「グリーンピア」、1/31、札幌市、2人
- ④ 特別養護老人ホーム「清明庵」、8/31、札幌市、4人
- ⑤ 認知症グループホーム「グリーンピア」、8/31、札幌市、5人
- ⑥ 知的障害者ホーム「美晴寮」、8/30、小樽市、5人
- ⑦ 特別養護老人ホーム「やすらぎ荘」、8/31、小樽市、3人
- ⑧ 有料老人ホーム「Cアミーユ神戸上沢」、10/29、神戸市、2人
- ⑨ 認知症グループホーム「花の里」、10/30、大阪市、2人
- ⑩ 介護付き有料老人ホーム「ほっと倶楽部」、10/30、神戸市、2人

3.2) 防火技術に関する広報事業

ホームページによる広報活動、日本防火技術者協会ニュースを2回発行。

3.3) 防火技術の開発・教育に関する調査・研究などの事業

3.3.1) 見学会

- ① 東京理科大学葛飾キャンパス、3/5、葛飾区、25名
- ② 読売新聞東京本社ビル、11/29、千代田区、21名

3.3.2) 防火研修会

- ① 最新の超高層建築と防火設計、6/18、新宿区、67人
- ② 記念講演「防災研究の道40年をふり返って」、11/29、新宿区、34人

3.3.3) 日本火災学会研究発表

「高齢者施設」7編発表、6/8、熊本市、

3.3.4) 日本建築学会研究発表

「高齢者施設」6編発表、8/30、札幌市

3.3.5) 職能WG、5回開催

3.3.6) 高齢者WG、10回開催

3.3.7) ルートC標準化WG、12回開催

3.4) 防火技術を生かした技術情報交換による防火技術者等との連携事業

- ① SFPE 年次総会、10/27、米国オハイオ
- ② SFPE 台湾支部シンポジウム「文化財の防火」、12/13・12/14、台湾台北市
- ③ SFPE アジアオセアニア地区、支部交流会、12/14、台湾台北市

3.5) 防火技術者育成及び登録事業

認定委員会の開催による第1次 JAFPE 防火技術者認定該当者の選定と登録、12/17

(4) 第四号議案 平成26年度活動計画

堀田総務理事より平成26年度活動計画についての説明があり、これを承認。主な活動計画は以下の通り。

4.1) 防火技術に関する講習会などの事業

老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会を継続し、特に高齢者施設の避難安全、改善に向けた助言、施設従事者に対する教育プログラムの作成を行い、成果を出前講座などで紹介する。(6月、9月)

4.2) 防火技術に関する広報事業

一般のビルや公共空間や地下の火災時の状況、避難安全の確保などについて防火技術者の立場から雑誌、ホームページなどで啓発する。(随時)

4.3) 防火技術の開発・教育に関する調査・研究などの事業

- ① 防災上特徴のある竣工建築物を、性能設計の視点から調査するとともに、一般市民の啓発を図る。(5月)
- ② 建築物の火災安全性能と防火技術について各種WGを実施するとともに、防火研修会により火災安全防火技術者の技術や倫理向上に資する。建築学会、火災学会などとの共催、または研究発表を行う。(3、6、9、11月)

4.4) 防火技術を生かした技術情報交換による防火技術者等との連携事業

- ① 防火技術者の技術力向上、倫理維持をめぐりホームページ、Email 配信などにより情報提供と相互連携、技術講習会を行う。
- ② 国際的な交流会等に参加する。国際的な問題をテーマとするシンポジウムに講師を招聘・派遣する。

4.5) 防火技術者の育成及び登録事業

防火技術者の向上育成を行うとともに、防火技術の知識を持つ、防火技術実務経験のある者が、JAFPE 防火技術者の登録申請し、認定委員会が審査し防火技術者としての一定水準を認められた者を当協会内に登録す



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

るとともに認定書を発行する。防火技術の発展に活用する。

(5) 第五号議案 平成25年度会計報告、監査報告

中島秀男会計理事より会計報告があり、これを承認。高橋太監事より監査報告がされた。

(6) 第六号議案 平成26年度予算

中島会計理事より説明があり、これを承認。

(7) JAFPE 防火技術者認定書授与式

当協会設立以来の懸案でありましたJAFPE 防火技術者制度が2013年度から発足しました。初年度である昨年は、理事の推薦により候補者を選出し、認定委員会(田中孝義委員長)にて審査を行い、その結果を踏まえ、理事会にて17名の方々が認定されました。これらの方々へ認定書が授与されました。

表1 理事推薦による認定者

認定番号	氏名	認定分野
14001	濱田信義	避難
14002	向野元昭	避難、煙制御
14003	鈴木弘昭	防耐火、火災調査・分析
14004	角谷三夫	避難、煙制御
14005	栗岡均	避難、煙制御、消防設備
14006	山内幸雄	消防設備
14007	西田幸夫	都市防火
14008	辻本誠	避難、煙制御、火災調査・分析
14009	仲谷一郎	防耐火
14010	長谷川晃一	消防設備
14011	山田常圭	避難、煙制御、火災調査・分析
14012	鈴木貴良	避難、煙制御、防耐火
14013	北後明彦	避難、都市防火
14014	森山修治	煙制御、避難
14015	萩原一郎	避難
14016	小林秀雄	防耐火
14017	土屋伸一	避難、煙制御

関澤愛教授 記念講演 「防災研究の道40年を ふり返って」開催報告

東京理科大学の関澤愛教授がSFPEのフェローになられたことを祝して記念講演を開催しました。

開催日：11月29日 17:00~18:00

場所：東京理科大学 森戸記念館

参加者：34名

お祝い会：18:30~



写真1 記念講演記念写真

読売新聞東京本社ビル 見学会報告

発行部数世界一を誇る読売新聞の本社ビルで、低層部には地域貢献として段床と平土間の2つのホール、新聞教室、展示スペースなどの施設を整備し、中層部には3層吹抜を中心とした最大限の平面スペースを確保した編集局と緑豊かな屋上庭園と社員食堂、最上部には東京を一望するレセプションラウンジなどがあります。

防災的には、低層部の吹き抜け部分の演出のための性能設計、ホール、展示スペースの避難安全などがポイントです。

- ・日時 11月29日(金) 11:30~13:00
- ・参加：21名



写真2 見学会参加者一同

特別シンポジウム 津波と津波火災からの避難安全 ～津波避難ビルのあり方を探る～ 開催報告

東日本大震災では、津波からの避難が遅れた人が多数犠牲になりました。また、津波から逃れたあとも避難先のビルの周辺で発生した火災によって危険な目にあった人たちもいました。津波からの避難の問題については、多くの分野の方が調査研究を行っていますが、これまで建築・都市防火、津波避難ビルの視点からアプローチした例は多くありません。そこで、震災後に津波避難ビルの調査、あるいは津波避難と津波火災による影響などについて調査研究を行った方々に報告していただきました。

開催日：1月29日 15:00-17:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

共催：東京理科大学

- (1)「津波避難ビルの課題と対策」：八木 真爾(佐藤総合企画)
- (2)「東日本大震災における津波避難ビルの被害実態」森山 修治(日建設計)
- (3)「津波火災焼損に対応した津波避難ビルの実現に向けて」：西野 智研(神戸大学)
- (4) 総合討論

JAFPE 防火技術者認定者の認定

公募による第1回目となる今年度は2月末に応募を締め切り、3月18日に認定委員会を開催し応募書類の審査を行い、結果を理事会へ報告しました。その結果3月31日の理事会で表2に示す方々の認定を決定し、6月6日に授与式を行いました。2015年度は、来年9月頃公募の予定です。

また、これらの認定業務を行った結果、JAFPE 防火技術者関連細則の見直しが必要な事項が出てまいりました。見直しの結果、変更した細則は決定次第公開する予定です。

表2 2014年度認定者

認定番号	氏名	認定分野
14018	笠原 勲	避難、煙制御
14019	佐藤博臣	避難、煙制御、防耐火、火災調査・分析
14020	矢代嘉郎	避難
14021	田中孝義	避難、煙制御、都市防火
14022	関澤 愛	避難、消防、火災調査・分析、都市防火
14023	小林恭一	消防
14024	堀田博文	消防設備
14025	富松太基	避難



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

14026	上原茂男	避難、煙制御
14027	池田憲一	防耐火、 火災調査・分析
14028	福井 潔	避難
14029	広田正之	煙制御、防耐火
14030	山田 茂	煙制御、避難
14031	林 広明	避難
14032	森田 武	防耐火、 火災調査・分析
14033	掛川秀史	避難、防耐火
14034	村岡 宏	避難、煙制御、 防耐火
14035	長岡 勉	避難、煙制御、 防耐火
14036	大宮喜文	避難、煙制御、 防耐火、都市防火
14037	吉田俊之	避難、煙制御、 防耐火
14038	竹市尚広	避難、煙制御
14039	野竹宏彰	避難
14040	太田 充	避難、煙制御、 防耐火
14041	嶋田 拓	避難、煙制御
14042	田村祐介	避難、防耐火

老人福祉施設に関するWG 日本建築学会教育賞受賞

当協会の老人福祉施設に関するWG(佐藤博臣主査)の活動に対し、2014年度日本建築学会教育賞が授与されました。当賞は建築教育に関連した顕著な業績に対し表彰するものであり、WGの活動が評価された結果です。当協会にとりましても、大変名誉なことであると同時に社会的認知の向上に寄与するものです。

WGメンバーは、青木浩、青木義次、宇山幸逸、大西一嘉、笠原勲、栗岡均、小林恭一、佐藤博臣、関沢愛、建部謙治、富松太基、仲谷一郎、堀田博文、村井裕樹、山村太一の15名です。

表彰式は5月30日に建築会館でおこなわれ、賞状とメダルが授与されました。



写真3 受賞者

日本建築学会教育賞受賞祝賀会 JAFPE 防火技術者認定者授賞式 報告

6月6日、スクワール麹町にて日本建築学会教育賞の受賞祝賀会、及びJAFPE防火技術者に認定された方々への認定書授与式が行われました。雨天にもかかわらず関係者36名が出席し、喜びを分かちあいました。

日時：平成26年6月6日(金)

18:00~20:00

場所：スクワール麹町・3階 華の間

参加者：36名

議題内容

- 1) 理事長挨拶
- 2) 日本建築学会教育賞受賞者代表挨拶
- 3) JAFPE 防火技術者認定書授与式
- 4) 認定委員長挨拶(代読)
- 5) 教育賞受賞内容の説明

日本建築学会教育賞(教育貢献)は、当協会活動の一つの柱である「火災安全に関する市民啓発活動」の先行活動事例として、2008年度から実施し、現在も継続して実施している「老人福祉施設・学校避難安全に関する研究会」(主査:佐藤博臣)の活動が、対外的に評価され、受賞業績名「高齢者福祉施設における実践的な火災安全思想の啓発・教育活動」として、受賞したもので、受賞者代表の佐藤さんから経緯が報告されました。

選考委員会の選考理由では、本来は行政や公的な機関が実施すべき喫緊の社会的な問題を、行政任せにせず、また特定の個人ではなく、特定組織の研究会が組織的に実施したことを上げています。このことは当協会の社会的な認知向上に大きく寄与できたものとメンバー一同自負しております。

また、このような施設を取り巻く課題を、メンバーそれぞれの専門性を生かして多面的に分析・整理した上で、創意工夫に優れた数多くの教材を開発したことも評価されました。



写真4 日本建築学会教育賞賞牌



写真5 祝賀会記念写真

防火技術機能WG(中間報告)

- ・メンバーは富松(主査)、笠原、小林、堀田、宇山、佐藤、堀田、中島、角谷、牧、福井のほか新たに鈴木弘昭さんが参加して分野の広がりを見せています。
- ・WGは今年は今まで4回(1/14、2/13、4/2、6/9)東京理科大学小林教授室や会議室にて開催しています。
- ・今年の主な検討は関連細則の見直しのほかJAFPE防火技術者のCPD(継続機能開発)制度について行っており、2015年度の総会で発表予定です。

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。

1月10日、2月17日、3月31日、5月19日

会 員

会 員 142名
学生会員 4名
賛助会員 6名
(2014年1月現在)



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会



SFPE・J ニュース

(SFPE 日本支部
の活動 第 30 号)

SFPE 日本支部 2014 年度通常総会報告

日時：平成 26 年 1 月 29 日 (水)
14:30~15:00

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容

- 1) 2013 年度事業報告
- 2) 2014 年度活動計画

【配付資料】

- (1) 年間事業報告・2013 年度事業報告 (2013 年 1 月~12 月)、Annual Report・Annual Report for Fiscal Year 2013
- (2) 年間活動計画・2014 年度活動計画 (2014 年 1 月~12 月)、Annual Plan・Annual Plan for Fiscal Year 2014
- (3) 会員・会友リスト、List of Members and Chapter Friends

【2013 年度活動報告】

【2014 年度活動計画】

1) 国際対応活動

- ・ 2013/10/27 に SFPE 本部総会と付帯行事がテキサス州オースティンで行われた。関澤副理事長が SFPE の Fellow に承認され、10/28 に記念講演 "Challenges in Fire Safety in a Society facing a Rapidly Aging Population," をした。
 - ・ 2013/12/13-14 に SFPE 台湾支部のシンポジウムが台湾の台北市で開催され、文化財の防災について福井理事長と関澤副理事長が講演された。アジア・オセアニア地区支部間の交流会が 12/15 に開催され、交流を深めた。
 - ・ 2014 年度は、地方の施設を対象として出前講座を積極的に実施する。さらにアンケートの分析やマニュアル類などの精査・向上を行う。
- 次回回は、2014 にインドネシアのジャカルタで開催予定。
- ・ 2014/11、オーストラリアのブリスベンで開催予定の第 10 回 SFPE 性能設計シンポジウムのテーマが発表された。性能設計 WG を立ち上げた。

2) 老人福祉施設に関する WG

- ・ メンバーは佐藤 (主査)、仲谷、笠原、栗岡、建部、富松、大西、関澤、小林、堀田、宇山、山村、村井である。また、東京

理科大や神戸大学の学生も適宜参加している。

- ・ WG は 10 回 (1/15, 2/18, 3/11, 4/2, 5/27, 7/23, 8/21, 9/2, 11/11, 12/26)、東京理科大学小林教授室にて開催した。(夜間消防・避難マニュアル、FIG 演習マニュアル、訓練マニュアルの検討、火災学会および建築学会発表内容検討、熊本防火研究会、札幌・小樽防火研修会準備、笹川財団および鹿島学術振興財団研究助成報告書作成検討など)
- ・ 火災学会 (6 月熊本大学) および建築学会 (8 月北大) に前年度の研究成果を合計 13 編発表した。
- ・ この研究発表に日程に合わせて、熊本消防および札幌社会福祉協議会などの協力により、防火研究会を 3 回 (6 月 7 日熊本、8 月 29 日札幌、8 月 30 日小樽) 開催し、あわせて複数施設の見学・討議を実施した。熊本の研修会では消防の協力のおかげで 170 名の参加を得た。札幌は 48 名、小樽では 60 名の参加があった。
- ・ 新しく作成した 3 つのマニュアルのうち、特に FIG に関する出前講座をユニット型特別養護老人ホーム「こぐれの里」で 12 月 12 日に開催した。
- ・ 2014 年度は、地方の施設を対象として出前講座を積極的に実施する。さらにアンケートの分析やマニュアル類などの精査・向上を行う。

3) 防火技術職能 WG

- ・ メンバーは富松 (主査)、笠原、小林、堀田、宇山、佐藤、堀田、中島、角谷、牧、福井である。また、随時、関係者の参加も得て開催している。
- ・ WG は 5 回 (3/25, 6/4, 8/9, 9/25, 11/29) 東京理科大学小林教授室にて開催した。また検討は理事会での確認をとりながら行った。
- ・ 8/31 には建築学会防火委員会の研究協議会で JAFPE 防火技術者認定制度の概要とスケジュールを紹介し、広く会員外も知ることとなった。
- ・ 検討の内容は 2013 年度の総会です了承を得たことに沿って行われ、JAFPE 防火技術者制度に関する規則や細則、第 1 次推薦に関する詳細や要項、認定委員会の構成や細則などについて定めた。フォーマットも合意を得て、推薦と認定を経て第 1 次認定者を出すに至った。
- ・ 第 1 次認定については、12/17 に認定委員会 (委員長：田中、委員：矢代・小林・笠原・富松、事務局：堀田・中島で構成) を開催し、理事推薦による 17 名を選出した。
- ・ 引き続き第 2 次の応募による手続きの検討に入り、1 月公告、2/28 応募締め切り、3 月認定委員会の開催を予定している。
- ・ 2014 年度は第 2 次認定のほか、更新

に伴う CPD 制度 (継続的職能開発) の検討を行い、早期にこの制度の立ち上げを行う予定である。

4) ルート C の標準化 WG

- ・ 「避難安全検証法 (ルート C) の標準化 WG」を 5 月に創設した。メンバーは山口 (主査)、池島、井田、大宮、佐野、高橋、竹市、田村、長岡、中道、仁井、萩原、松下、水落、水野、吉田、山田。
- ・ WG は 12 回 (1/28, 2/25, 3/25, 4/22, 5/27, 6/24, 7/29, 8/26, 9/30, 10/28, 11/25, 12/25) 開催した。この他数回の SubWG も開催した。
- ・ 高度な手法を用いた性能評価 (ルート C) の円滑な運用を目指し、現状の課題の整理 (運用の側面、技術的側面、その他) を行った上で、より好ましい性能評価を行うための具体的な方法として、①運用ガイドラインの作成、②避難開始時間等の標準的な計算法の検討などを提案・実施することを目的として行っている。
- ・ 1 月以降も継続し、3 月をめどに中間報告書をまとめる予定である。

5) エレベーター・エスカレーター避難検討 WG

- ・ 高齢化社会の加速や、どのような人にも不都合のないユニバーサルな社会の実現化が求められる中、火災時には建物からの迅速な避難を可能とすることが求められている。そのような状況で、今まで各種研究組織や団体でエレベーター、エスカレーター避難の実現に向けた研究が行われてきた。また、東京消防庁は、今年から迅速な避難が難しい人のために、一時退避スペースを設け、非常用エレベーターによる避難・救助を可能とすることを指導するための指針を定めた。このような中で、今年度の研究を包括的に検討し、より実務的な側面から防火に関わる各立場の関係者、建物の管理にかかわる関係者などでエレベーター・エスカレーターの避難利用をより普及させるための方策を検討することとした。
- ・ WG メンバーを公募し 13 名の応募を得た。担当理事の山田を含め 14 名で 1 月より活動を開始する。

6) SFPE ケーススタディ WG

- ・ 2014/11/12-14、オーストラリアのブリスベンで開催予定の第 10 回 SFPE 性能設計シンポジウムのテーマが発表され、今年度は 2014 年に開かれる次回の国際会議 (オセアニア地区で開催) の日本支部のケーススタディを作成するため SFPE ケーススタディ WG を立ち上げ、7 月までに完成をめざす。またシンポジウムに参加する。テーマは、吹抜けのあるオフィスビルである。



7) 最新建物の見学研修会(事業WG)

・2013年度は3月に「東京理科大学葛飾キャンパス」、11月に「読売新聞東京本社ビル」の計2回の見学会を開催した。2014年度は、見学研修会3回開催を予定する。

8) 広報活動

・SFPE-J ニュースはそのまま「NPO 法人日本防火技術者協会」の広報ともなり日本防火技術者協会ニュース(JAFPE ニュース)の一部に掲載。28~29号2回発行した。
・2014年度は、JAFPE ニュース3回発行を予定する。

Journal of Fire Protection Engineering Vol.23, No.3, August 2013

Case study

■Hong-Zeng Yu : Physical scaling of water mist protection for ignitable liquid cut-off rooms

Articles

■Rodrigo Berreto Caldas, Ricardo Hallal Fakury, Joao Batista Marques Sousa, Jr, and Roque Luiz da Silva Pitanqueira : A numerical model for concrete slabs under fire conditions
■Jeffrey S Rosen, Michael D Szkutak, Stephen M Jaskolka, Matthew S Connolly, and Kathy A Notarianni : Engineering performance of water mist fire protection systems with antifreeze
■Du Yang, Zhang Pei Li, and Ou Yi Hong : Effects of humidity, temperature and slow oxidation reactions on the occurrence of gasoline-air explosions

Journal of Fire Protection Engineering Vol.23, No.4, November 2013

Obituary

■Craig Beyler : The most important FPE of his generation: an obituary for Philip J DiNunno, 1953–2013

Literature Survey

■A Alvarez, BJ Meacham, NA Dembsey,

and JR Thomas : Twenty years of performance-based fire protection design: challenges faced and a look ahead

Articles

■Magnus Arvidson : A novel method to evaluate fire test performance of water mist and water spray total compartment protection
■Miles Greiner, Marcelo del Valle, Carlos Lopez, and Victor Figueroa : Thermal measurements of a rail-cask-size pipe-calorimeter in jet fuel fires

Thanks to reviewers

■Thanks to reviewers

<http://jfe.sagepub.com/>

なお、Journal of Fire Protection Engineering は Fire Technology に統合された。

<http://link.springer.com/journal/10694>

Fire Protection Engineering 1ST Quarter 2014

■Marriott International Inc.: Application of a Global Fire Protection Philosophy
■Serving Multinational Clients Globally
■Bringing a Product to the Global Fire Alarm Market
■The Status of Fire Safety Engineering in Europe

Fire Protection Engineering 2ND Quarter 2014

■Fixed-Guideway Transit and Passenger Rail Systems Fire Safety: An Overview
■The Flammability of a Storage Commodity
■New ways to look at warehouse fire protection
■Electric Vehicle Battery Hazards: Hands-On Fire Test Data For Emergency Responders
■USCG Uses Expiration and FDS Modeling to Aid Small Passenger Vessel Industry

Fire Technology

Vol.50, Issue 1, January 2014

■Even Greater than the Sum of Its Parts : Guillermo Rein

Obituary

■Phil DiNunno: 1953–2013 : Craig Beyler

Editorial

■Special Issue on Wildland–Urban Interface (WUI) Fires : Samuel L. Manzello

OriginalPaper

■Characterization of Fuel Properties and Fire Spread Rates for Little Bluestem Grass : K. J. Overholt, J. Cabrera, A. Kurzawski, M. Koopersmith, O. A. Ezekoye
■Development of Test Methods for Assessing the Fire Hazards of Landscaping Mulch : Craig Beyler, Josh Dinaburg, Chris Mealy
■Ignition of Mediterranean Fuel Beds by Several Types of Firebrands : D. X. Viegas, M. Almeida, J. Raposo, R. Oliveira, C. X. Viegas

■New Correlation Between Ignition Time and Moisture Content for Pine Needles Attacked by Firebrands : Panpan Yin, Naian Liu, Haixiang Chen, Jesse S. Lozano, Yanlong Shan

■Initial Reconnaissance of the 2011 Wildland–Urban Interface Fires in Amarillo, Texas : Alexander Maranghides, William Mell, Karen Ridenour, Derek McNamara

■Characterizing Firebrand Exposure from Wildland–Urban Interface (WUI) Fires: Results from the 2007 Angora Fire : Samuel L. Manzello, Ethan I. D. Foote

■Fire Performance Properties of Solid Wood and Lignocellulose-Plastic Composite Deck Boards : Thomas Z. Fabian

■Applications of the Equivalent Gap Fraction Criterion Method for Fire Whirl Risk Evaluation and Prevention in a Real Fire Disaster : Rui Zhou

Fire Technology は以降、隔月に発行されている。